お知らせ

平成26年3月11日

湯沢河川国道事務所
秋田河川国道事務所

秋田県内の直轄国道における雪崩緊急点検結果について

～雪崩のシーズンに備え～

平成26年3月6日（木）、秋田県内の国道13号において、専門家と合同の雪崩緊急点検を実施した結果、今回の点検においては、雪崩発生の危険性や、早急な対策が必要な斜面は確認されませんでしたが、継続して道路パトロールで目視点検等を実施することとしています。
なお、今後とも降雪や路面凍結等が予測されますので引き続き安全運転にご協力お願いします。

○ 点検実施日 ： 平成26年3月6日（木）

○ 点検箇所 ： 国道13号 湯沢市上院内～大仙市協和（5箇所）

○ 点検方法 ： 雪崩対策専門家及び職員による目視点検

雪崩対策専門家 防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター 新庄雪氷環境実験所
小杉雪氷環境実験室長（博士） 佐藤特別研究員（博士）

○ 点検結果 ： 別紙－1を参照願います。

【記者発表先】 秋田県政記者会、横手記者会、秋田魁新報社湯沢支局、大曲支局、秋田建設工業新聞社、建設新聞社秋田支局、秋田県南日々新聞、秋田民報

【問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局
●秋田河川国道事務所 電話 018（823）4167（代表）
・副所長 今野（こんの） 敬二（けいじ）(内線205) ・道路管理第二課長 齊藤（さいとう） 正志（まさし）(内線441)
●湯沢河川国道事務所 電話 0183（73）3174（代表）
・副所長 齋藤（さいとう） 廣昭（ひろあき）(内線205) ・道路管理課長 鈴木（すずき） 恵吉（けいきち）(内線431)

別紙－１

雪崩緊急点検実施結果

秋田県内の直轄国道沿線の峠部の累加降雪量は、いずれも過去5年平均を大きく上回る降雪量となっており、これからの時期は気温の上昇や降雪等によっては雪崩が発生しやすい状況となります。
秋田県内の河川国道事務所では、これまでも雪崩予防・防止対策として、雪崩防止柵等を設置するとともに、道路パトロールにより、危険箇所の確認を実施しておりますが、今回雪崩対策の専門家と合同で危険箇所の点検を実施しましたので、点検結果をお知らせします。

秋田県内の代表地点の累加降雪量（数値は各年とも3／6）
角館観測所（秋田）　H26:　669cm　（5カ年平均　465cm）、H25:　626cm、H24:　526cm
湯沢観測所（湯沢）　H26:　994cm　（5カ年平均　850cm）、H25:　1,068cm、H24:　1,002cm


雪崩点検実施状況①


雪崩点検実施状況②


雪庇発生状況


雪庇除去作業


雪庇除去後

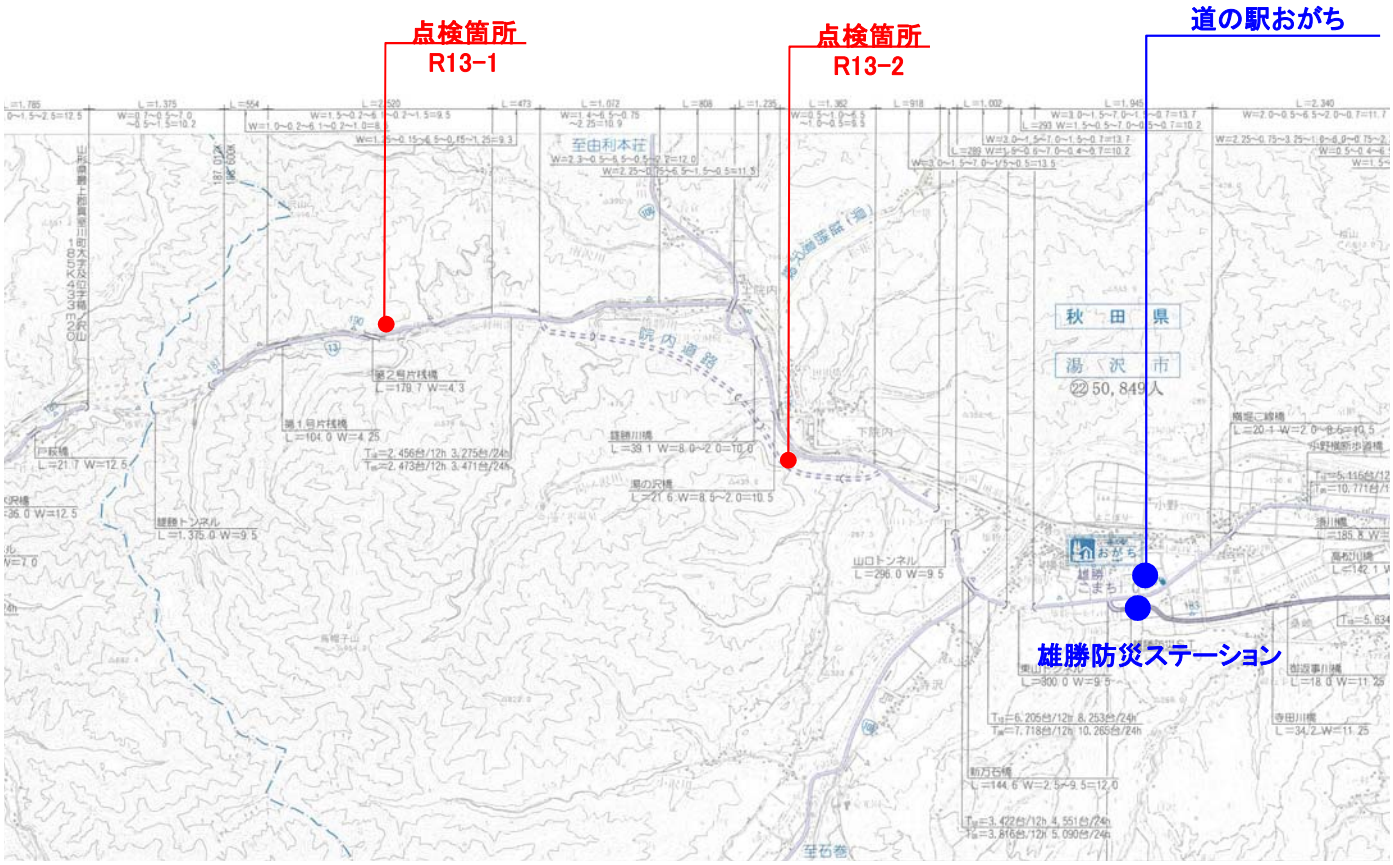

堆雪ポケット確保前


堆雪ポケット確保作業


堆雪ポケット確保作業

◆雪崩緊急点検実施結果
〇国道13号の雪崩等の発生が予想される斜面5箇所を点検した結果、今回は雪崩発生の危険性が高く、早急に対策が必要な箇所はありませんでした。
〇今後の降雪に対しても道路パトロールによる継続的な目視点検を実施し、雪崩予防対策として堆雪ポケットの確保、雪庇処理等の対策を行っていくこととしております。（一部実施済み）

●点検箇所位置図／湯沢河川国道事務所管内
＜国道13号＞



●点検箇所位置図／秋田河川国道事務所管内
＜国道13号＞

